

NanoTerasu 利用推進協議会 設立趣意書

放射光施設は、放射光と呼ばれる強力な電磁波を用いて物質の構造を詳細に解析する研究施設であり、日本が科学技術立国として世界を先導し、ものづくり産業の国際競争力を高めていくために極めて有効な施設である。近年、世界各国で建設されている中型高輝度放射光施設は国内に存在せず、また、東北地方は、国内に9つ存在する放射光施設の空白域となっていたが、平成30年7月に最先端となる放射光施設が、官民地域パートナーシップという新しい枠組みで、東北大学青葉山新キャンパスに整備されることが決定した。

特定放射光施設3Gev 高輝度放射光施設「NanoTerasu(ナノテラス)」は、日本の科学技術・産業技術の振興に重要な役割を果たすとともに、東北・新潟をはじめとするものづくり産業の起爆剤となり、新たなイノベーションの創出が大いに期待できる。

令和6年度、放射光施設 NanoTerasu の運用開始に向けて、東北・新潟の産学官が連携し、地域企業の利用促進に向けた活動を行うことにより、我が国の科学技術の振興並びに東北・新潟の新たなイノベーションの創出による産業の活性化に貢献することを目的として、「NanoTerasu 利用推進協議会」を設立するものである。

令和5年2月6日